

「観光」に取り組む人の声 -Interview-

「上越市観光交流ビジョン」の策定に当たり、観光振興計画策定検討委員会を開催し、上越市の観光の現状やワークショップでの内容などを踏まえながら検討を行いました。

今回は、検討委員会委員の公募市民の二人から、上越市の観光や魅力などについてお話を伺いました。

自分のまちに誇りを持つ

観光振興計画策定検討委員会では、委員それぞれが「たくさんの人に上越市に来てもらいたい」「市民一人一人から自分のまちを好きになってもらいたい」など、観光に対するさまざまな思いを持ちながら意見を交わし、検討を進めました。

雁木や町家のまちなみ、風情は、世界に誇れるものだと思っています。高田世界館や春日山城跡など、上越市は歴史や文化にあふれています。

観光の取り組みを進めていくためには、まずは自分のまちに誇りを持つことが大切です。どの地域にも素晴らしいものがあり、その良さを子どもたちに伝えようとする中で、大人たちにも再発見があるはずです。地域のことを学んでいくことが、観光につながると考えます。

いきいきと楽しく暮らしていけば、その場所に訪れた人に「良いまち」だと思ってもらえると思います。



上原 みゆきさん

国立妙高青少年自然の家(妙高市)で研修指導員を務め、全国から訪れる学生たちに上越地域の魅力などを伝えている。



笹川 枝里子さん

翻訳や通訳、外国人向けの情報発信の支援など、インバウンドに関する事業を行っている。

それぞれの地域に楽しさや魅力がある

上越市は食のレベルが高く、来訪者から好評を得ています。また、海や山の自然など、自慢できる資源が豊富です。

しかし、外国人向けの観光情報が不足しているなど、情報発信の仕方を工夫する必要があると思います。それぞれの地域に楽しさや魅力があり、これらの情報を発信していければと考えています。

来訪者には、そこでしか体験できないお祭りなど、地域のコミュニティに参加していただき、「また来たい」と思ってもらい、市内への移住につながるきっかけになればうれしいです。

昨年実施された「観光地域づくりワークショップ」では、タクシー事業者や市指定文化財の古民家の管理人、民宿のオーナーなど、さまざまな業種の人々が参加され、観光に関してそれぞれの視点からお話を伺えました。新しいつながりを持つこともできて、とても良い機会になりました。

観光は、企画する人が楽しまなければ、訪れる人が楽しめないと思います。みんなでアイデアを出し合い、新しいツールをつくっていきたいです。

私たちがつくる!



皆さんが感じている上越の魅力を SNS で「#上越もよう」のハッシュタグを付けて投稿しませんか。投稿いただいた写真は、公式 SNS 「上越忠義隊けんけんず」(インスタグラム)などで紹介するほか、市の観光 PR に活用します。

詳しくは、インスタグラム「上越忠義隊けんけんず」アカウントのプロフィール欄(右のネームタグをスマートフォンで読み取ってください)をご覧ください。

私たちの写真で上越を彩りましょう!



投稿してね!!